

●モンゴル

モンゴルの経済は、COVID-19パンデミックの影響によって、引き続き大きな打撃を受けている。政府は「非常事態宣言」を2021年末まで延長した。2021年9月6日の時点で、モンゴルは国内で23万6274件のCOVID-19の感染と968人の死亡を記録した。同時に、人口の64.7%が完全にワクチン接種されており、ブースターショット

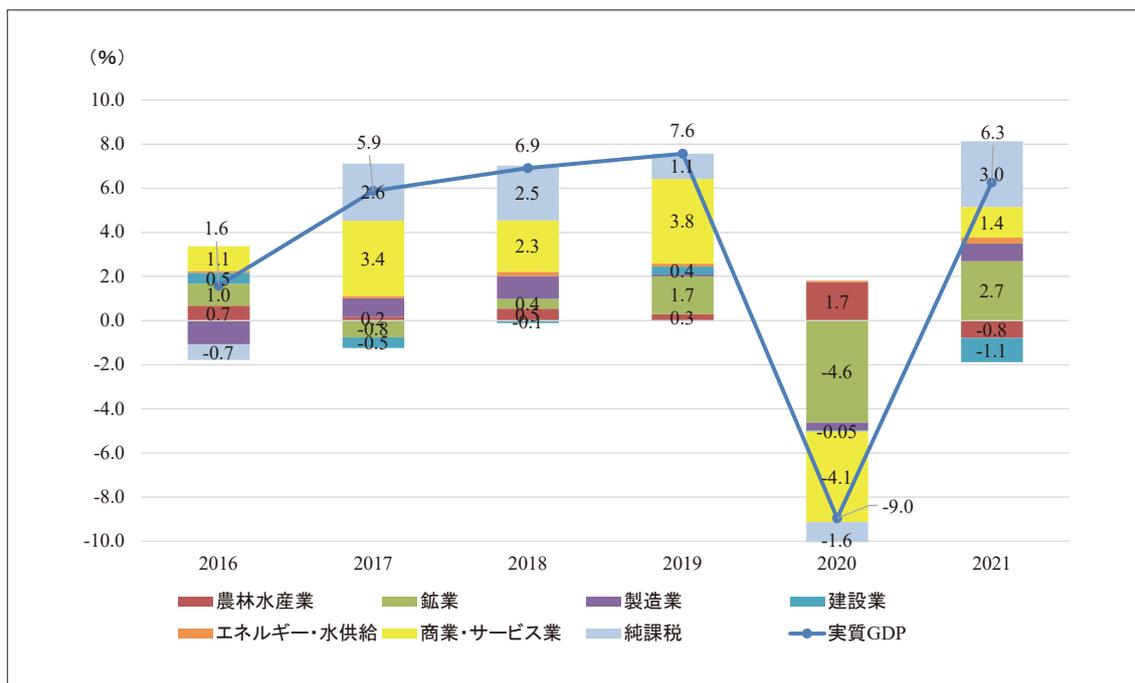
ト(3回目の接種)が今年の8月に始まった。2021年には、経済活動は1年前よりも加速したが、COVID-19の発生が継続的に拡大しているため回復が妨げられている。モンゴルは2021年6月9日に大統領選挙を行い、現在の与党であるMPPの候補者で元首相のU. Khurelsukh氏が、多数の票を得て第6代の大統領となった。

マクロ経済

モンゴルの実質四半期GDPは3四半期連続で拡大した。2021年第2四半期の前年同期比成長率は0.6%、2021年上半期の前年同期比成長率は6.3%であった。第2四半期の季節調整済み実質GDPは、前期より5.1%低下した。

2021年上半期において建設と農業を除くすべての部門の生産は前年を上回った。鉱業と純課税が成長への最大の貢

図 実質GDP成長率と部門別寄与度(各年上半期)



(出所) モンゴル国家統計局

| | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2020年 1Q | 2020年 2Q | 2020年 3Q | 2020年 4Q | 2021年 1Q | 2021年 2Q | 2021年 6月 | 2021年 7月 | 21年 1-7月 |
|------------------------|--------|--------|-------|-------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 実質GDP成長率(対前年同期比:%) | 1.5 | 5.6 | 7.7 | 5.6 | ▲4.6 | ▲10.1 | ▲8.2 | ▲2.6 | 1.0 | 14.8 | 0.6 | - | - | - |
| 鉱工業生産額(対前年同期比:%) | ▲0.3 | 5.1 | 6.4 | 1.7 | ▲1.6 | ▲13.1 | ▲11.6 | 0.2 | 10.9 | 66.2 | 49.6 | 39.1 | 38.3 | 55.1 |
| 消費者物価上昇率(対前年同期比:%) | 0.8 | 4.3 | 6.8 | 7.3 | 3.7 | 6.1 | 3.6 | 2.4 | 2.7 | 2.5 | 6.1 | 6.6 | 7.4 | 4.8 |
| 登録失業者(千人) | 344 | 25.5 | 25.0 | 20.8 | 18.1 | 19.4 | 19.6 | 17.8 | 18.1 | - | - | - | - | - |
| 失業率(%) | 10.0 | 8.8 | 7.8 | 10.0 | 7.0 | 6.6 | 6.6 | 7.3 | 7.6 | 8.8 | 8.4 | - | - | - |
| 対ドル為替レート(トゥグルグ) | 2148 | 2441 | 2473 | 2664 | 2813 | 2757 | 2799 | 2847 | 2851 | 2850 | 2850 | 2849 | 2849 | 2850 |
| 貨幣供給量(M2)の変化(対前年同期比:%) | 21.0 | 30.5 | 22.8 | 7.0 | 16.3 | 3.8 | 5.5 | 9.8 | 16.3 | 22.9 | 29.8 | 29.8 | 26.5 | 26.5 |
| 融資残高の変化(対前年同期比:%) | 6.1 | 9.6 | 26.5 | 5.1 | ▲4.9 | ▲1.8 | ▲4.6 | ▲4.4 | ▲4.9 | 2.9 | 10.3 | 10.3 | 12.3 | 12.3 |
| 不良債権比率(%) | 8.5 | 8.5 | 10.4 | 10.1 | 11.7 | 10.7 | 11.0 | 11.4 | 11.7 | 11.5 | 10.2 | 10.2 | 10.2 | 10.2 |
| 貿易収支(百万USドル) | 1,558 | 1,863 | 1,137 | 1,492 | 2,277 | ▲126 | 494 | 851 | 1,064 | 477 | 373 | 129 | 53 | 903 |
| 輸出(百万USドル) | 4,916 | 6,201 | 7,012 | 7,620 | 7,576 | 1,036 | 1,792 | 2,319 | 2,429 | 2,000 | 2,111 | 788 | 630 | 4,742 |
| 輸入(百万USドル) | 3,358 | 4,337 | 5,875 | 6,128 | 5,299 | 1,162 | 1,299 | 1,468 | 1,366 | 1,524 | 1,737 | 660 | 577 | 3,838 |
| 国家財政収支(十億トゥグルグ) | ▲3,660 | ▲1,742 | 3 | ▲756 | ▲4,539 | ▲276 | ▲1,922 | ▲541 | ▲1,800 | ▲96 | ▲973 | ▲203 | 239 | ▲831 |
| 国内貨物輸送(対前年同期比:%) | 20.0 | 15.3 | 14.6 | 7.4 | 1.1 | ▲6.3 | ▲8.8 | 1.9 | 17.0 | 15.7 | 0.7 | - | - | - |
| 国内鉄道貨物輸送(対前年同期比:%) | 7.9 | 9.1 | 13.5 | 13.5 | 10.3 | 10.8 | 12.6 | 13.1 | 5.0 | 4.0 | 1.5 | 7.2 | ▲10.2 | 1.1 |
| 国内道路貨物輸送(対前年同期比:%) | 78.4 | 33.6 | 17.3 | ▲6.6 | ▲24.5 | ▲54.5 | ▲68.8 | ▲19.9 | 73.1 | 94.1 | 257.0 | 458.8 | - | - |
| 成畜死亡数(対前年同期比:%) | 132.0 | ▲38.8 | 197.0 | ▲58.0 | 85.0 | 89.2 | 78.0 | 78.4 | 98.0 | 87.9 | 78.3 | - | - | - |

(注) 消費者物価上昇率、登録失業者数、貨幣供給量、融資残高、不良債権比率は期末値、為替レートは期中平均値。

(出所) モンゴル国家統計局『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号 ほか

献者であり、商業・サービス業および製造業がそれに続いた。ただし、建設業の生産は2020年第2四半期以降、5期連続で減少し続け、2021年上半年期には1.1ポイントのマイナス成長の原因となった。農業部門の生産高も2020年第4四半期以降、3期連続で減少し続け、上半期には0.8ポイント、マイナス成長に寄与した。この生産の低下は、主に悪天候による成家畜の損失の増加に関連していた(図1)。

支出面では、2021年上半年期のGDPは前年比6.2%増であったが、家計や企業への政府刺激策の減少や事業活動の低迷により家計収入が減少したため、最終消費は前年比8.9%減少した。しかし、この期間の総資本形成は前年比44.7%増加し、輸出と輸入はそれぞれ前年比14%と5.4%増加した。

実質鉱工業生産(GIO)は引き続き回復し、2021年第2四半期には鉱業生産高の回復に牽引されて前年比49.6%増加した。GIOは7月に前年比38.3%上昇した。2021年第2四半期の鉱業部門の生産高は前年同期比81.4%増加したが、製造業および公益事業部門の生産高は前年同期比0.2%、前年同期比14.7%増加した。しかし、COVID-19パンデミックを封じ込めるためのさまざまな国境を越えた制限による輸入の困難のために、生産投入を輸入に大きく依存している製造業の生産は以前よりも低かった。現在の価格での鉱業の売上高は、2021年第2四半期に前年比72.3%増加し、その82.6%が輸出であった。

2021年第2四半期の年間消費者物価指数(CPI)上昇率は6.1%であったが、7月にはさらに7.4%に上昇し、政府の目標インフレ率である6%を上回った。食品とノンアルコール飲料の価格上昇がCPI上昇の主な要因であり、輸送の上昇がそれに続いた。これらの項目は、CPI全体の上昇の3.2ポイントと1.7ポイントの原因であった。パンデミックによりサービス需要が低迷したため、財のCPIの上昇はサービスのCPIよりもはるかに高かった。2021年7月

のCPIは前年比8.8%上昇したが、サービスのCPIは前年比3.1%上昇した。

モンゴルの通貨トゥグルグの為替レートは、2021年第2四半期に1米ドル=2850トゥグルグと比較的安定しており、輸出は引き続き回復し、輸入は低迷を続けた。

マネーサプライ(M2)は、2021年7月末時点で27.1兆トゥグルグ(95億3000万米ドル)を占め、現地通貨で26.5%、米ドルで25.9%増加した。経済を刺激することを目的としたローン金利を助成する政府のプログラムが続いているため、2021年7月末のローン残高は19.5兆トゥグルグに増加し、前年比12.3%増加した。2021年7月には不良債権の割合が10.2%に減少したものの、不良債権総額は前年比2.1%増となり、事業環境の改善は見込めない。

国家予算は2021年1-7月期に8310億トゥグルグの赤字となったが、1年前の2.5兆トゥグルグからは改善している。収入と助成金の合計は前年比56.7%増で7.66兆トゥグルグを占め、支出と純貸付の合計は前年比14.9%増加して8.49兆トゥグルグに相当した。税収入は前年比50%増加し、非税収入は前年比2.3倍に増加したが、外国からの助成金は2倍に増加し、347億トゥグルグまたは1220万ドルになった。燃料税などの特別目的の収入を除いて、すべての税目で税収入が増加した。同時に未来遺産基金と安定化基金に7085億トゥグルグと2992億トゥグルグがそれぞれ割り当てられた。予算支出の増加は、主に経常支出の前年比25.9%の増加に起因しており、資本支出は前年比33%減少した。ただし、対外債務による純貸付は前年比48.1%増加した。

外国貿易

2021年1-7月期、モンゴルは141カ国と貿易を行い、対外貿易の総売上高は86億ドル、輸出入はそれぞれ47億ドル、38億ドルで、9億340万ドルの黒字を記録した。輸出と輸入はともに前年比で増加し、輸出は前年比25.2%増加し、輸入は前年比30.5%増加した。総輸出の84.3%を占める

鉱業品は、前年比62.1%増加した。しかし、非貨幣用金の輸出は前年の5分の1に減少し、2億1800万ドルとなった。石炭と銅精鉱の輸出は、期間中にそれぞれ11億ドルと16億ドルにとなり、前年同期を上回った。

2021年1-7月期、中国への輸出は全体の91%を占め、また中国からの輸入は全体の38.9%であった。2番目に大きな輸出先はスイスで、全体の3%を占め、実質的に非貨幣用金の輸出であった。次に大きな輸出先は韓国とロシアで、それぞれ全体の2%と1.3%を占めている。

同時にロシアは2番目に大きな輸入元で、日本がそれに次いでいた。これらの国々からの輸入は、期間中、全体の26.9%と6.8%に相当した。モンゴルの唯一のEPAパートナーである日本からのモンゴルの輸入は2億6230万ドルであったが、日本への輸出はわずか796万ドルであった。韓国は4番目に大きな輸入元であり、輸入額は1億6850万ドルで全体の4.4%に相当した。

輸送

2021年上半年期の総貨物輸送量は、すべての鉄道、道路、航空貨物の輸送量に支えられ、前年比7.9%増加した。期間中、鉄道貨物の輸送量は前年比2.7%増加し、道路貨物の輸送量は前年比50.9%増加した。しかし、2021年7月の鉄道貨物の輸送量は、国内貨物、輸出貨物、通過貨物の輸送量がそれぞれ低かったため、前年比10.2%減少した。道路輸送による輸送量は1240万トンで、2021年上半年期には前年比47.5%増加した。同時に、航空貨物の輸送量は国際輸送に支えられて8.3%増加した。しかし、COVID-19のパンデミックに関連する制限により、航空輸送は引き続き大きな打撃を受け、乗客の輸送量は期間中に前年比81.9%減少した。

ERINA 調査研究部主任研究員
エンクバヤル・シャクダル